

群馬菱の実会だより

<http://www18.ocn.ne.jp/~hishimig/>

(本紙は「群馬菱の実会ホームページ」から、毎月1日に、カラーで綺麗にご覧頂けます。ネットでの閲覧をお奨めします)

会員各位

群馬菱の実会 会長 二宮平太郎

平成25年度・群馬菱の実会総会のご案内

第27回をむかえる本年度群馬菱の実会の総会を、下記の通り開催いたします。会員の皆様には、万障お繰り合わせの上、ぜひご出席下さるようお願い申し上げます。

今年度も総会終了後には恒例のお楽しみ懇親会も予定しておりますので併せてお知らせいたします。

なお今回は、昨年度同様に受付開始時間を早めて14:30とし、総会前に自由時間を長く設け、会員作品展や工場見学(自由選択です)、分譲コーナー、並びに会員同士の懇親を深めて頂ければ幸いです。是非お早めにお越し下さい。(同封の返信ハガキは、4月11日(木)までに到着するようにご投函下さい。)

期 日	平成25年4月23日（火曜日）	
場 所	馬電 ゲストホール （ 受付開始時間 14:30 ）	
内 容	(1) 自由時間（会員作品展、家電品分譲コーナー等を準備）	14:30 ～ 15:50
	(2) 工場見学（希望者）	15:20 ～ 15:50
	(3) 総 会	15:55 ～ 16:45
	(4) 記念撮影	16:50 ～ 17:15
	(5) 散会（記念撮影終了後）	17:15
	(5) 懇親会	17:20 ～ 19:15
会 費	<u>平成24年度会費 :3,000円</u> 当日、会場で会費を徴収させていただきます。（ <u>つり銭のないようにお願いします</u> ） 総会欠席者は、後日郵便振替用紙を送りますので、ご送金下さい。	
	<u>懇親会出席者：男性 3,000円、女性 2,000円</u>	
(1) 車の方は当日正門で駐車場のご案内をいたします。雨天以外は正門前グランド又は、会社前パチンコ店跡地の予定です。 (2) JR高崎線で来られる方は、次の列車に合わせ、熊谷駅南口に迎えの車が待機していますのでご利用下さい。東京発 13:44 熊谷着 14:23（たにがわ413号） (3) 東武伊勢崎線利用の方は木崎駅にタクシーを配車。伊勢崎方面14:10、足利太田方面14:45		

会員増加キャンペーンのご案内

3月号菱の実だよりに掲載いたしましたが、会員増加の為の入会促進運動を下記の通り企画致しましたのでご案内いたします。「会員ひとりが1名の新会員を！」を目標に、積極的なお誘いをお願い致します。是非菱の実会の各行事の楽しさ、愛好会の魅力を多くの方に広めようではありませんか。

1. キャンペーン期間 2013年4月1日～6月30日
2. 資料配布 4月上旬に配布します
3. 体験入会受付します。各愛好会の競技や活動に参加する(菱の実会のしおりより選定いただく)
4. 特典 新加入者並びに紹介者には、入会と勧誘のお礼として、記念品を差し上げます。
5. 連絡先 入会についての問い合わせは下記にてお聞きいたします。
 - ・菱の実会会長 自宅:TEL 0276-37-3646 携帯:090-9802-2948
 - ・菱の実会事務局長 携帯:TEL 080-1293-8981

第14回(平成24年度)囲碁大会

白井五段が完全優勝し、六段に昇段

3月11日(月)に、12名が参加して、ブライダルスクールでの初めての大会を開催しました。今までの赤城倶楽部と違って、30畳もある大きな会場で、ゆったりと楽しむことができました。優勝は白井五段で、4戦全勝、400点という見事な成績で、囲碁愛好会では最高位の六段に昇段されます。来年も3月の第2月曜日に開催されますので、予定おきください。また、毎月 第二月曜日の午前中には、月例会を開催していますので、気軽に覗いてみてください。



順位	氏 名	勝敗	得点
優勝	白井敬郎 五段	4勝0負	400点
準優勝	窪田秀治 三段	4勝0負	380点
3位	大塚俊郎 1級	3勝1負	290点
4位	根岸宣匡 2級	2勝2負	215点
5位	星野安正 三段	2勝2負	210点
6位	境野利夫 1級	2勝2負	200点



第70回春季グラウンドゴルフ大会

順位	氏 名	HD	スコア	1打	2打
優勝	根岸利喜蔵	0	74	2	11
準優勝	本島シゲ乃	0	77	2	12
3位	田部井秀夫	0	78	1	13
4位	島 保夫	+3	82	2	9
5位	根岸佳代子	0	82	1	14
6位	高橋 豊	0	83	2	11
7位	柳沢 勝利	0	86	1	10



冬季グラウンドゴルフ大会が、2月18日(月)利根グウンドゴルフ場で14名の参加で行われました。今回は、みょうぎコースが芝養生のため使用できないため、あかぎ・はるなコースを各2周、32ホールで行われました。結果は、長老でベテランの根岸利喜蔵さんが優勝しました。優勝しました。次回の春季大会は5月27日(月)を予定していますので、皆様の参加をお待ちしています。

第12回 カラオケ大会



順位	氏 名	曲 名	HD	採点
優勝	堀米延秋	くちなしの花	10	99
準優勝	永沼ひろ子	不如帰	10	96
3位	永沼 進	紬の女	4	95
4位	根岸利喜蔵	細雪	2	95
5位	大橋 浩	男のうそ	2	95
6位	佐藤辰利	酒暦ニューバージョン	4	93
7位	飯塚 徹	夢追い酒	9	93
8位	境野賢治	東京キッド	4	92
9位	荒井昭三	裏町酒場	10	91
10位	近藤正司	雨降る波止場	5	90
11位	江川八郎	熱き心に	5	90
12位	根岸佳代子	おんなの波止場	5	86
13位	栗原正吾	君こそわが命	10	86

第12回カラオケ大会を、3月4日(月)「まねきねこ 尾島店」で実施しました。平成24年度の活動も今回が最終回、会員、幹事、その他の協力で、月例会8回、大会4回を開催し、参加人数:前年度は185名→今年度は158名で、会員の逝去や菱の実カラオケ会創設者である斉藤慶蔵さんが、奥様の介護で2名共リタイヤで、27名減少となりましたが、大会では緊張感も感じながら、飲んだり・食ったり、唄ったり、楽しいひと時を過ごしました。今回の採点結果は、哀愁歌謡で話好きな、堀米延秋さんが優勝しました。次回月例会は4月1日(月)です。

※ 採点方法は上表の通りで同点の場合は年齢順です

【幹事研修会での俳句・短歌集】・室内で グランドゴルフ 雪の宿・ユニアアイいわびつ 集いて 囲碁打つ 菱の実のひと・白い雪 黒い岩とがそこあそこ・湯かげんも 程良く外は 冬景色
・イワビツ景色を基盤と見れば 白石黒石 どちらが勝つか・白黒を 無言でにらむ ふるきとも・年をとり 今ある我に 妻感謝・春を待ち 耐え忍んでる フキノトウ
・友ときて 語り明かした 雪の宿・厳寒の 軒上見れば つららかな 雪見囲碁 打つ手無くても ジェンド・声高く 入学前の 孫来る・褐色の いわびつ山や 雪残る
・上州路 妻恋しい 山の宿・山里の 静かな宿で 一夜妻・賞品で もらえたひきわり 明日には早速 健康食材・残雪や いわぶちのやどの 夜明けかな・懐かしく 話のはずむ 雪の宿
・残雪や 菱の実会の 旅の朝・雪原や 山なみ静か 宿の朝・旅先で のぼるあさひに 安堵する・残雪に 春待つ木々が 待ちわびて いわびつに 友と語りて 夜半過ぎ
・研修会 雪いち面でお出むかえ・研修会 いわびつ山に 見守られ いわびつ 雪まだ多し 二月かな・雪多く 春まだ遠き イワビツは・出発し すぐ飲むビール 楽しみに

【 会員投稿 】

雑誌を読んで雑感

大槻伸次

朝食後、いつもの様に新聞に目を通してから、先日購入したボイス(Voice)という雑誌を手にした。

雑誌をぱらぱらと捲って、最初に目にしたのは片山杜秀氏著(慶應義塾大学准教授)の『海ゆかば』清貧の美学だった。副題として“西洋の響きの向こうに垣間見える「純正日本」とあり興味を惹いた。

内容は、明治生まれで日本作曲界の 2 大巨人『海ゆかば』の作曲者である信時潔(のぶとき・きよし)氏と、対するもう 1 人の巨人『“からたちの花”や大作オペラ等』に代表される山田耕作氏との 180 度異なった音楽観について論じている。

信時氏は明治 20 年生まれ、山田氏は前年の 19 年生まれで一歳年上だった。2 人ともクリスチャンの家庭で関西に育ち、ともに上野の東京音楽学校に学び、お雇い外国人に師事する。そして、ともベルリンに留学し、没年も同じというように経歴が非常に似ている。

ところが、信時氏の日本は、山田氏の『古今和歌集』や『源氏物語』や江戸三味線音楽等々に象徴される、複雑で繊細な情調に満ち溢れた日本と違って、『万葉集』のおおらかで生一本な日本であり、漢詩文や謡曲のモノクロームな日本であり、背筋の伸びた武士道な日本だった。そこで、山田氏と信時氏は明治人の「柔」と「剛」の体現者に他ならなかったというのである。その結論として『海ゆかば』は、日本の伝統音楽とキリスト教や西洋音楽に挟まれて育った明治人である信時氏の極まりで、西洋の伝統(七音階)と日本の伝統(五音階)が共に息づく旋律線を持った歌で、尚且つ非常時の精神の体現する稀代の張りを示す曲であると云っている。

だが残念なのは戦時期の「第二の国歌」とされることで、総力戦体制化の国民生活の困苦欠乏と一体で記憶されてしまったことは、信時氏の栄光でもあり不幸でもある。しかし、彼の音楽的達成は、戦時の国民的緊張の経験の回想ばかりに閉じ込められてしまってよいものではなく、その『海ゆかば』をはじめとする作品群には、今日にも通じる簡素や質素や清貧という観点から、新たな命が吹き込まれねばならないと著者は結んでいる。

私は、読んででは見たものの音楽観たる難しい理屈はわからないし、評する資格も教養もないが、そのこととは別として、第二の国歌とまでいわれた『海ゆかば』について特別な関心を抱いた。そこで、書籍やネットなどを参考に信時氏や『海ゆかば』について調べてみた。

『海ゆかば』は、『椰子の実』、『めんこい子馬』、『隣組』、『ああ紅の血は燃ゆる』などとともに、当時の日本放送協会の肝いりで作られた数多くの歌の一つであり、日本政府によって国民精神強調週間のテーマ曲として日本放送協会が信時氏に嘱託して完成された曲だという。1937 年 11 月 22 日に日本放送協会の大阪放送局で初放送され『国民歌謡』(戦後の『ラジオ歌謡』で『夏の思い出』も其の一つ)の一曲として広められたものである。

出征兵士を送る歌として愛唱され、国民の戦闘意欲を高

揚させるべく制定された曲だったというが、この曲を大いに印象付けたのは「玉砕のテーマ」として用いられたことだったようだ。すなわち、太平洋戦争末期におけるラジオ放送の「大本営発表」の際に、その内容が玉砕であった場合、番組導入部のテーマ音楽として用いられたという。ところが、信時氏自身若い学徒までが出征するに及んで、大いに苦しむことになったようだ。

私自身、『海ゆかば』という曲を知ってはいたが、特別な関心を持って聞いたことはなかった。そこで、どんな曲想なのかユーチューブ(You Tube)で動画を探したら、歌手の奥田良三氏(年代物のフィルムからで画面が雨降りしていた。数日後、不法投稿で削除されていた)が歌っているのが投稿されていたので早速聞いた。その他、伊藤久男、森繁久弥氏らが歌っているのも投稿されていたが奥田良三氏のものが最も憂いがあった。

♪海ゆかば水漬く屍 山ゆかば草むす屍…確かその曲想から感じられるのは荘厳であり日本的、あえて言うなら鎮魂歌風だと思った。何回か聞いたが、複雑な余韻が残ったのは確かである。歌詞は、奈良時代の政治家であり万葉歌人の大判家持(おおとものやかもち)の古歌から引用したものであるという。

さきの大戦において、何百万という若者は、聖戦という国の最高指導者の言葉を信じ、『海ゆかば』で精神を高揚させられ戦場に赴き、お国の為と青春を棒に振って一度きりの命を捧げたのである。ところが大本営発表は国民を欺き、果ては戦いに敗れ、国民を悲惨な状態に導き投げ捨てたのである。そこで言いたい、過去も現在も一国の最高指導者たるものは国の進路を誤らず、国民を不幸にするようなことの無いよう、叡智と信念を持って政治を行い、最大限の努力をなすべきである。最近の日本社会は、ちょっと前までは考えられないような事件が多発している。そこで、日本人(日本社会)全体が劣化している云々の話題が、新聞や雑誌などで取り上げられているが、現状は目を覆うばかりである。

日本は敗戦から 60 有余年、米国の庇護の下(米国の日本精神劣化政策が成功)? 曲がりなりにも平和が持続され、そこそこ豊かな社会が実現したが、皆がぬるま湯に浸かっている間に茹で蛙となり、政治は停滞し、官僚は跋扈しやりたい放題である。しかし、如何なる事であろうと、日本の国政を担う、政治家や官僚までもが劣化(腐敗)してもらっては困る。

2012 年はギリシャを震源とするヨーロッパ通貨ユーロの激震を受け、世界同時不況に直面し、そのしわ寄せとして、経済弱者と呼ばれる人達を直撃している。また、政治に於いては巨大な財政赤字、円高、震災復興、医療、年金、教育、領土など問題山積である。そこで、今こそ与野党が対立している暇など無い筈であり、官民一体となって俊足(時間的余裕はない)にこれらの難題に取り組み、世界の範となる日本の再建に取り組むべきときだろう。「下手な心配休むに似たり」かも知れないが、再び信時氏を苦しめたいつか来た道に逆戻りしない為にでもある。

会員投稿のご協力有難うございます。現在の未掲載原稿は、二件です。引き続きよろしくお願い致します。

◇ おしらせ ◇

TELに市外局番のないものは 0276 です

行 事	日 時	場 所	申 込 み、他
4月の囲碁愛好会	4月8日(月) 9:30～	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
4月の麻雀愛好会	4月11(木)、24日(水) 9:30～17:00	ブライダルスクール 会費 1000円	申込み 4/9日、22日まで 荒井 昭三 (52-0803) 小林 昌樹 (38-0964)
4月の将棋愛好会	4月22日(月) 9:30～	ブライダルスクール	ご自由にご参加ください
4月の グラウンドゴルフ例会	4月22日(月) 9:30(集合9:15)	利根G/G場 (会費:無料)	希望者は直接会場へ (雨天中止)
第60回ゴルフ愛好会 (記念大会)	4月9日(火)	上武ゴルフ場 (会費2000円)	川口 (56-2678) 関根 (31-8410) 長谷川 (0270-74-2056) 竹沢 宏 (52-2271)
5月のカラオケ (第13回大会)	5月7日(火) 17:30～21:30	「まねきねこ」 0276-52-3450	申込み: 5月5日まで 大橋 浩 (52-3866) 江川 八郎 (52-1886)
5月のパソコンサークル	5月7日(火) 13:30～14:45	労組会議室	ご自由にご参加ください
5月の幹事会	5月7日(火)15:00	労組会議室	
4月の編集委員会	4月15日(月)13:30	労組会議室	

軒 養 明 烹 割

各種宴会・法事他承ります 0276-52-0007

群馬県知事許可番号(般-14)第20247号

・公共下水道切替工事
・工口給湯据付工事

見 積 無 料
お電話一本即参上

富昇設備工業

太田市太子町71 (事)052-0755
052-0755
太田市亀岡町571-1 (自)052-1484

<頭の体操・・・中学校の数学問題 方程式をたてて答えなさい>

折り紙を配る。3枚ずつ配ると20枚あまり、4枚ずつ配ると5枚足りなくなる。子供の人数と折り紙の枚数を求めなさい。

編集後記

3月中旬、中禅寺湖の南岸にある『社山』を登ってきた、ポカポカ陽気の中を汗をかきながら見晴らしの良い雪稜で休憩、ふと対峙する男体山に目をやると山頂に黒い雲がかかり吹く風も冷たくなって来た、急いで山頂を踏み下山にかかるのと雪が降り始め、30分もすると猛吹雪となり視界も利かず気温も急激に低下した、いわゆる寒冷前線の通過、突風を伴う春の嵐である。湖岸に降り立つ頃は雪も止み、男体山も見え3時間程で前線が通過した、この時期油断すると大事に至る、今は予報も正確で前線の通過も時間まで判る、又気圧計も時計に組み込まれているので気圧の変化も居ながらにして判る、文明の力を利用して安全登山に心掛けたい。
(生田 記)

発 行 2013-4-1 No. 240

発行責任者 二宮 平太郎

● 編集: 「菱の実会だより」編集委員会

● 事務局 三菱電機労働組合群馬支部内

〒370-0492 群馬県太田市岩松町 800

TEL 0276-52-3874 Fax 0276-52-3207

<次号配布予定日> 発行日: 5月1日。●ホームページは5月1日更新予定。●メール便及び菱の実会員宅配は5月7日頃配送予定です(宅配者の都合で多少の遅れはご容赦下さい)